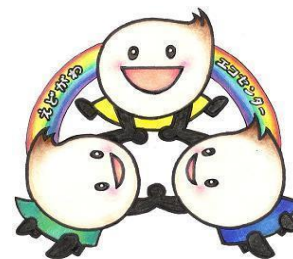


広がる！環境学習の輪(わ)



知って・学んで・実践

**環境学習リーダー  
養成講座報告書**

平成20年3月20日  
NPO法人えどがわエコセンター  
実施団体 Dream box

## はじめに

平成13年度からスタートした「環境学習リーダー養成講座」は、今年度で7回目を迎え、2月23日の「ウォーター5グループ」によるチャレンジ講座開催をもって無事終了しました。講座開催に際しイノシシ倶楽部・部会員・事務局の方々のご尽力に感謝申し上げます。

今年度は、昨年度のふりかえりを踏まえ、講座の開催日、回数  
の見直しをはかるとともに、講座プログラムは、受講生の皆さんが主体的に学びに参加でき、実体験を多くする参加体験型学習の充実をはかり、「チャレンジ講座」では、実践する力を身につけて頂くことを第一のねらいとしました。

昨年度に、修了生の活動の場として「イノシシ倶楽部」を設置、環境の整備を行いました。今年度のリーダー養成講座では、多くのイノシシ倶楽部の方が講師補助、ファシリテーター・サポーターとして講座準備から参画し実践力をつけて頂きました。今後もエコセンターの担い手として活動できる人材育成を積極的にはかっていきます。

2008.3.24

環境保全部会

部会長 大和地弘一

## ～平成19年度環境学習リーダー養成講座実施概要～

### 学習のねらい

「環境について学び考え、地域またはエコセンターで行動する人づくり」を目指していくために次の3つをねらいとする。

- (1) 環境問題に対する理解と気づきを大切にする。学習によって得た知識、経験を今後の活動に役立たせる。
- (2) 「プログラムづくり」から「作成したプログラムの実施（チャレンジ講座）」までを参加体験学習する。体験学習によって得た実践力を、地域またはエコセンターで具体的な環境保全活動への参加（＝行動）に結びつける。
- (3) 参加体験形式で受講生が主体となって学び合うことで、主体性・協働性・創造性などについて習得する。

### 講座概要

(1) 講座は全6回開催

I. 環境知識の習得（第1～3回） II. 参加体験型学習（第4～5回）

III. チャレンジ講座（第6回）

■ 第1回【9月14日（金）】PM18:30～19:00 タワーホール船堀

①開校式&オリエンテーション

えどがわエコセンター佐々木副理事長から「環境学習リーダー養成講座」開講のねらい等について、お話とオリエンテーションがあった。

②もったいない運動えどがわの紹介

えどがわエコセンター事務局・内菌さんから、区とえどがわエコセンターが地球温暖化防止を目的として進めている「もったいない運動えどがわ」についての紹介と参加の呼びかけを実施した。「もったいない」の心で省エネ・省資源やごみ減量を家庭から企業、学校などで展開している具体的な内容について学んだ。

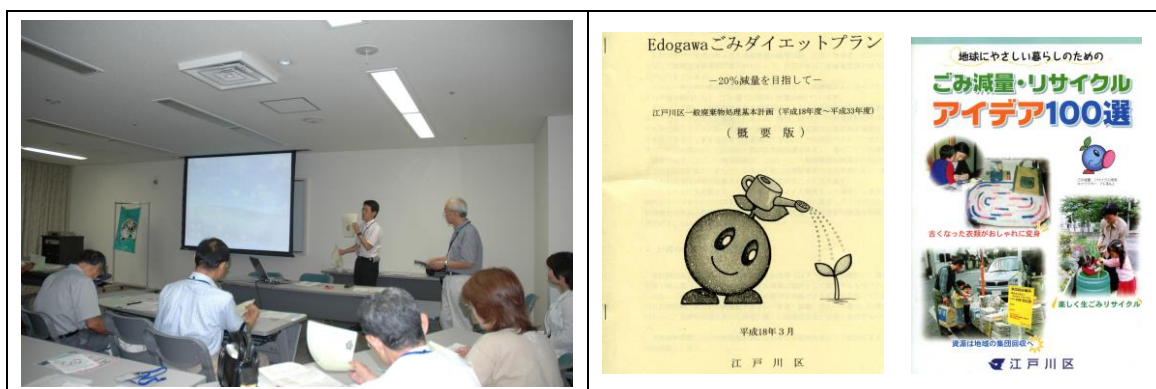


I. 【環境知識の習得】（開催回数：3回） 第1回～3回

■ 第1回【9月14日（金）】PM19:00～21:00 タワーホール船堀

① 環境知識の習得1

テーマ	Edogawaごみダイエットプラン（～20%減量を目指して）！
講師	山中寿将氏（江戸川区環境部・清掃計画課・ごみ減量係）
概要	区が進める、「Edogawaごみダイエットプラン（～20%減量を目指して）」のさまざまな取組について学び、身近にできること（行動）を広げていくために何が必要かを知る。



「Edogawa ごみダイエットプラン」は、区のごみ処理の現状から将来に向けてのマスタープランの話があった。－20%減量目標の実現のためのキーワードとして3Rの実践を中心に、身近な生活に密着した取組みの必要性について理解した。また、区として試行中の廃プラスチックの処理についての関心を持って頂いた。

② 環境知識の習得2

テーマ	アイスブレイク
講師	市川まりこ（環境カウンセラー）
概要	初対面の参加者同士の緊張感や抵抗感をなくすために必要なアイスブレイクについての理解と、実際に体験して和やかな雰囲気づくりを体験する。





受講生、サポーターの皆さんとゲームを楽しみながら自己紹介などを行い、和やかな雰囲気づくりを体験することができ、第4～5回のワークショップ形式で行う企画書づくりを受講生が主体的に進めていく上でその必要性について理解ができた。

### ③環境知識の習得3

テーマ	参加体験学習企画の基本を学ぶ
講師	大和地弘一（環境カウンセラー）
概要	第4～5回の参加体験型学習での企画実現に向け、環境学習・イベントの企画・プログラムづくりにとって大切な基本について学ぶ。

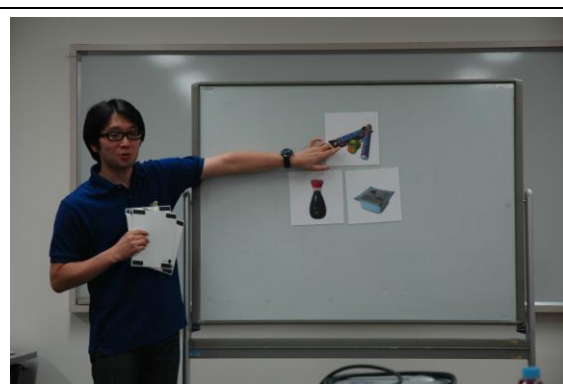


受講者が主体的となりチャレンジ講座を実践するために必要な企画書・プログラムづくりの基本を理解してもらった。

■ 第2回【9月21日（金）】PM18:30～21:00 タワーホール船堀

①環境学習事例体験1（地球温暖化）

テーマ	身近にできる地球温暖化対策
講師	宮腰義仁（全国地球温暖化防止活動センター・環境ナビゲーター）
概要	「ストップ温暖館」が取り組んでいる「身近にできる地球温暖化対策」プログラムを活用して、講座企画の立て方、プログラムづくりなどについて事例紹介とそのノウハウを学ぶ。



プログラムの事例紹介と実際に体験をすることで「参加体験型学習」への理解が深まった。講師の話し方、ツールの使い方などを学んで頂いた。また、講座に必要なツールなどはストップ温暖館などで借りることで、少しでも負担を少なくすることも重要であることを伝えた。

②環境学習事例体験2（環境情報・ごみ減量）

テーマ	ちょっとエコな買い物の工夫
講師	市川まりこ（環境カウンセラー）
概要	毎日の買い物をするときに、環境に配慮した商品の情報（環境ラベルや素材識別マークなど）をよく知って商品を選択していくことが環境への負荷を減らすと同時に、廃棄する時の分別が環境への負荷を減らすごみダイエットへつながっていくことを理解し、講座企画の立て方、プログラムづくり等のノウハウを学ぶ。





今回は省エネ電球型蛍光灯の商品の情報(素材識別マークなど)をテーマに、グループ別に包装箱に記載されている商品情報を読み取り、その内容について気づいたこと・気になったことなど発表しあい商品情報表示の問題点と必要性について理解した。講師の話し方、ツールの使い方などを学んで頂いた。

■ 第3回【9月29日(土)】PM13:00～16:30 タワーホール船堀&新川

テーマ	水辺の生きものから見た江戸川区の自然環境・理解のヒント(フィールドワーク)
講師	高木嘉雄(環境カウンセラー・自然観察指導員)
講師補助	斉藤智子・橋本隆司
概要	自然体験を通じ、そのプログラムのねらい、構成、道具、注意事項など自然体験プログラム作成に必要なことを学ぶ。江戸川区は豊かな水環境と緑をまちづくりの重要な要素として守り、育て、広げてきた。本年は「全国川サミット」といった大きな事業も計画中。本区の環境に欠かせない水と緑。そのポイントの解説方法をフィールドワーク中心に学ぶ。





自然体験プログラムのねらい、構成、道具、注意事項など自然体験プログラム作成に必要なことを学び、新川に出かけ新川に生息している生き物の観測や水質検査などを体験し、都市の中に小さな自然を増やすことの大切さを感じて頂いた。

■ 第4回【10月5日(金)】PM18:30～21:00 タワーホール船堀

■ 第5回【10月13日(土)】AM10:30～16:30 タワーホール船堀

II. 【参加体験型学習】(開催回数：2回)

テーマ	第4回：①チャレンジ講座実施事例紹介 ②思いを企画してみよう(企画書の書き方)
	第5回：①思いを企画してみよう(企画書の書き方)
講師	市川まりこ、大和地弘一(環境カウンセラー)
ファシリテーター	吉井寛之・斉藤智子
概要	受講者が主体的にワークショップを行い、チャレンジ講座で実践する企画書を作成すると同時に、主体性・協働性・創造性を養う。





昨年同様、ワークショップ形式で行い受講生が主体となり学びあい、環境学習・イベントの企画書づくりを実施した。企画書づくりでは、グループに分かれプログラムづくりの楽しさと難しさを体験。また、グループ活動では、他の人との良い関わり方・他の人の意見を受け入れることの大切さ・自分の意見を示すことの大切さ・自分の興味関心の方向性などを気付いてもらった。終了後、懇親会を行った。



### Ⅲ. 【チャレンジ講座】

今年度も2グループが区民を対象に作成したプログラムを開催することで、リーダー講座のねらいである実践能力を養う。

#### 【中村組チーム】

テーマ	貴方出来ますか？廃プラスチックのエコなごみ出し ～廃プラの捨て方、いくつか知ってかえろう～
日時	12月9日（日）
会場	江戸川共栄商店街
対象	区民
受講生	中村富久子・滝沢泰子・志村潮子・根本美玲
ファシリ テーター	吉井寛之
概要	商店街と連携し区の「Edogawaごみダイエットプラン」として実施中の廃プラスチックの回収を正しく分別できるようスタンプラリー（クイズに答えてラリーに参加）を通し、来場者にごみ分別の普及啓発を行う。





10月13日の第5回講座終了後は、自主的に、グループ毎にチャレンジ講座テーマのプログラム作成・運営などについて、ファシリテーターの助言をえながら活発な活動を進めた。当日は寒い一日となったが事務局の「まぐるクイズ」と連携し、廃プラスチックの回収を正しく分別できるようスタンプラリー（クイズに答えてラリーに参加）を通し、来場者にごみ分別の普及啓発を行うことができた。

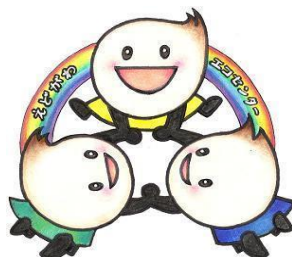
## 【ウォーター5チーム】

テーマ	クイズと実験で水を知ろう！
日時	2月23日（土）
会場	中小岩小学校
対象	4年生
受講生	窪田孝穂・若月健司・山口津留夫・高森敬子・山村良太郎
ファシリテーター	斉藤智子
サポーター	糸山正行
概要	水は全ての命の源であることを理解。その水を私達の身の回りの家庭の中で大切にしていくために、家庭での水の使用、排水の部分に絞って取り上げ、クイズや実験を通して家庭で使う水の量や水を汚している原因を知ることで、水を汚しているのは自分たちであり、その問題の解決のために具体的な方法を考え、行動に移していくことの大切さを学ぶ。





中村組同様、自主的にグループ毎にチャレンジ講座テーマのプログラム作成・運営などについて、ファシリテーターの助言をえながら活発に活動を進めた。講座は4つのパートに区分し、受講生がそれぞれパートの講師を分担する初めての試みで、リハーサルを重ね、当日は、タイトなスケジュールであったがきちんと実施することが出来た。このような実施体験は、座学では学べないことなので貴重なノウハウを得ることができた。



特定非営利活動法人 えどがわエコセンター  
編集 環境保全部会

住所：〒134-0091 江戸川区船堀4-1-1 タワーホール船堀3階

電話：03-5659-1651 FAX:03-5659-1677

E-mail: edogawa-ecocenter@bz01.plala.or.jp

URL : [www.edogawa-ecocenter.jp/](http://www.edogawa-ecocenter.jp/)